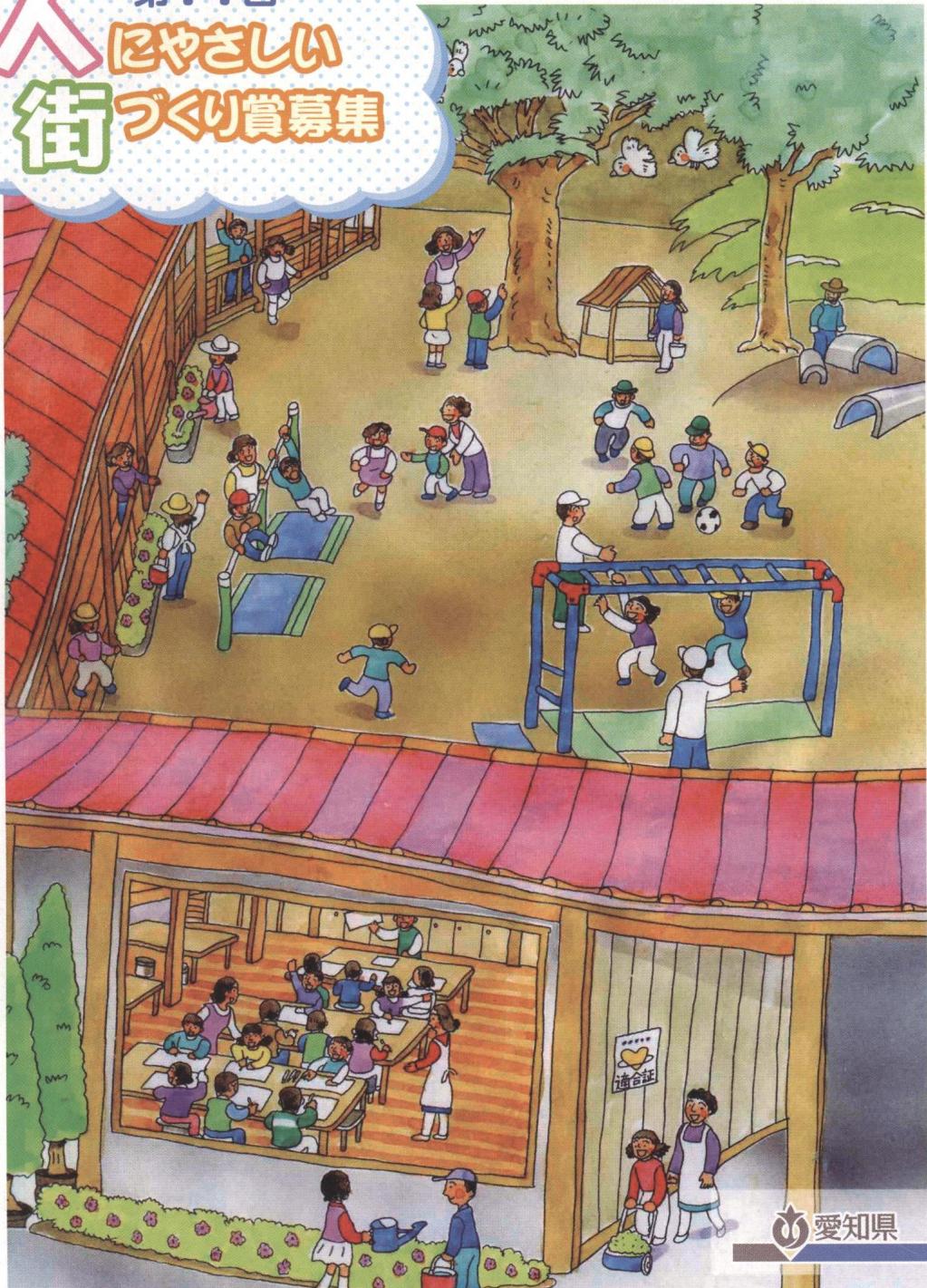


第14回

人にやさしい街づくり賞

の記録

第14回
人にやさしい
街づくり賞募集



愛知県

平成20年度

■講評

日進市の愛知牧場周辺には、病院、木スビス、老人保健施設など一連の施設が医療福祉ゾーンを形成している。この老人ホームは、草原を見下ろすことのできる緩やかな傾斜地に建てられ、オープンしてから5年が経過している。その風情はすっかり風景にとけ込み、玄関脇の交流スペースに飾り付けられたさまざまな作品からは、ここで生活するお年寄りたちの穏やかな日常の様子を感じることができた。

この老人ホームには2つの大きな特徴がある。その第一は参加による計画プロセスである。社会福祉法人の建物でありますながら公募市民を含むワークショップを開催することで、地域に根付いた施設として関係者の熱意と知恵を盛り込むことに大いに成果を上げている。地域から孤立した特別な施設ではなく、まちの財産として位置付け、キーワードである「人と人との交流」を自然な雰囲気の中で実現していると言える。特徴の第二は生活者の視点に立った環境づくりである。傾斜のある敷地を入念に読み取ることで、



夏祭り



外観

どのフロアも地面と接するよう巧みに構成されている。その結果、内部の生活空間が外部空間を豊かに取り込んでいる。全室個室型のユニットケアを採用したこと以上に、上下移動のハードルとなりがちな高低差がむしろゆとりある生活拠点としての質の向上に大いに役立っている点を大いに評価したい。

今後とも、継続的な運営を通じて得られる成果と生活環境に関する知見の蓄積に期待をしたい。

(鈴木 賢一)



木をふんだんに使った食堂

■データ

所在地 日進市米野木町南山987-104

施設 地上3階 RC造

延べ面積 3,180m²

竣工 平成15年9月

設計 大久手計画工房